

アジア太平洋エネルギー研究センター拠出金(エネ高)

資源エネルギー庁長官官房
国際課

令和5年度概算要求額 **5.6 億円 (5.6 億円)**

事業の内容
事業目的 世界で最もエネルギー需要の増加及びCO2排出量の増加が見込まれているアジア太平洋地域において、エネルギー安全保障の強化と気候変動問題への対応を同時に進めていくため、エネルギー効率の向上や省エネ・低炭素技術の開発・普及、エネルギー・トランジションやカーボンニュートラル実現を目指すことを目的とします。 事業概要 アジア太平洋経済協力(APEC)のエネルギー専門研究機関であるアジア太平洋エネルギー研究センター（APERC）を通じて、エネルギー安全保障の強化や低炭素技術の普及に取り組みます。 （１）APECにおける、エネルギー効率目標達成を支援するため、APECに参加する国・地域の省エネルギー・低炭素化政策の相互審査(ピアレビュー)、エネルギー・トランジションやカーボンニュートラル実現に向けたキャパシティビルディングを実施します。 （２）「APEC長期エネルギー需給見通し」の作成や統計整備のための研修生受入・専門家派遣等を実施します。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）
 国 → 拠出金 → アジア太平洋エネルギー研究センター (APERC)
成果目標
APEC域内におけるエネルギー効率を、2035年までに2005年比で45%向上することを目指します。